

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 61

所管部局	企画管理部	所管課	企画推進課	担当者名	中島 しのぶ
事業名	伝統的工芸品月間国民会議全国大会推進事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	伝統的工芸品月間国民会議全国大会推進事業			政策体系	231
会計	一般会計	科目	2.総務 - 1.総務 - 6.企画		

1. 事業の概要

「第26回伝統的工芸品月間国民会議全国大会・京都開催」にあたり、会場地として京都市と並び南丹市が選定されたことからこれを受け入れ、関連事業や独自事業を展開する。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

南丹ブランドとして南丹市におけるものづくり文化の新たな価値を見出し、感動・創造・ものづくりに取り組むまちとして南丹市の魅力を全国に発信する。

②事業を実施する必要性

ものづくりのまちとしての地域特性を有しており、それを活かした取り組みや情報発信が求められる。また、合併後における初の全国規模の催しであり、市民の誇りや一体感を醸成するうえでの効果が期待される。

3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円				5,159			
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円				159			
財源内訳	使用料・手数料等	千円			0			
	国・府支出金	千円			0			
	地方債	千円			0			
	一般財源	千円			5,159			
職員等の従事人員	人/年	—	—		0.35			
人件費	千円	—	—		2,397			
事業費総額	千円	—	—		7,397			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

- ・京都伝統的工芸品月間推進協議会負担金1,000,000円
- ・京都伝統工芸活性化実行委員会負担金2,000,000円
- ・国民文化祭プレ事業南丹市負担金2,000,000円

5. 事業結果の概要

- ・南丹市において平成21年度伝統的工芸品月間国民会議全国大会記念式典が開催された。
- ・同大会における京都府の地元催しとして「京都新ものづくり創造フェア」が京都伝統工芸大学校を会場に開催され、伝統と先端技術の融合による新生活文化を提案するコンペティションやシンポジウムが実施された。
- ・南丹市の独自事業として「ものづくりの祭典」を実施し、来る国民文化祭のプレイベントと位置づけ多くの市民の参画を得て開催することができた。

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) イベント開催		
平成21年度京都伝統的工芸品月間国民会議全国大会の開催。	10月28日～11月1日	期間中、南丹市会場に17,500人の参加

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

伝統的工芸品の普及を目指して毎年11月を「伝統的工芸品月間」と定め、全国各地で普及啓発事業を行う「伝統的工芸品月間国民会議全国大会」が京都市・南丹市を会場に開催され、推進協議会へ負担金を支出した。平成21年度限りの事業であるが、「ものづくりのまち南丹市」を市内外にアピールする絶好の機会となっ

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

--